

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ春江		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名 (うち4名兄弟児)	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画(個別支援計画)に沿った支援がおこなわれている。	・個別支援計画作成のためのアセスメントに児童発達支援管理責任者以外も同席することで、より客観的な視点から保護者のニーズを分析している。	今後も個別支援計画作成のためのアセスメントには複数名が参加し、保護者のニーズを聞き取っていく。必要があれば第三者の同席も依頼する。
2	子ども達の特性に応じた、専門性のある支援が受けられていると感じていただいている。	・今年度から専門的支援実施加算を算定開始。 ・個別支援計画作成のためのアセスメントに専門的支援実施の担当者が同席。 ・朝の勉強会を実施している。	各職員が自身の得意分野の学習を継続し、内容を他の職員に共有することで、事業所の職員全体の療育の質の向上をはかる。
3	子ども達の様子をしっかりと保護者に連絡できている。	・職員間で当日の様子を共有し保護者に伝えられるようにしている。 ・活動で外出している時でもつながる事業所の電話番号を用意している。	共感的な支援が継続できるように職員がセミナーや勉強会に参加する。外出先でもつながる連絡先を複数用意し、保護者に安心して利用していただける事業所にしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流がない。	・土曜日の開所が無いため、地域交流の回数に差が出る。 ・放課後児童クラブや児童館、保育園との横のつながりが無い。	事業所新聞の配布時などに交流の打診をあわせて行っていく。行政が開催する連絡会等に参加し関係者との横のつながりを作る。
2	保護者に対し、災害時のマニュアル整備や事業所での避難訓練実施の周知ができていない。	・連絡帳アプリでマニュアル等は参照できるようになっていることを保護者に周知できていない。 ・避難訓練実施当日に利用していない子ども達の保護者への周知が徹底できていない。	連絡帳アプリの使用法とあわせて、マニュアル等の参照方法を連絡する。訓練当日に利用していない子ども達の保護者に向けて訓練実施報告をおこなう。
3	子ども達の活動スペースの改善。	・フロアマットの劣化が見られる。	フロアマットの交換をおこなっていくと共に、マット素材の変更も検討していく。